



大阪プロバスクラブ

会報 第366号

2021年12月20日発行

Monthly Bulletin of

The Probus Club of Osaka

- 例会会場：ホテルモントレ大阪 06-6458-7111
 例会日：(原則) 毎月第2月曜日 12時より14時まで
 ○創立 2001(平成13)年7月9日創立記念式7月16日
 ○スポンサークラブ：箕面千里中央ロータリークラブ
 ○友好クラブ：箕面ロータリークラブ
 ○会長：有竹正巳 ○幹事：西宮富夫 ○事務局：(幹事宅)
 〒563-0022 池田市旭丘2-6-25 Tel: 090-7496-5096
 ○会報担当：西宮富夫 pxi06603@nifty.com
 ○会報ホームページ：<http://osakapurob.exblog.jp/>
 ○全日本プロバス協議会：<https://www.all-japan-probus.com/>
 会長：古賀靖子(北九州)、副会長：川端崇且(大阪)、島村吉三久(五所川原)、馬場康博(旭川)、田中信昭(東京八王子)、
 幹事長：松本 忠(北九州)
 ○日本のプロバスクラブ・関西 Blog 版
<http://probuscent.exblog.jp/>

10月中旬から11月中旬まで1か月間の更新分(順不同)

クラブ	会報	記事一部
旭川	会報第195号	地域メディアとしてできること(尾崎吉一)、社交ダンスに魅せられて(久保あつこ)、他
鈴鹿西	会報第253号	幹事報告(理事会報告)、YOUTUBEの活用法について(YouTubeへのアクセス、音楽の聴き方他)(辻野佳規会員)他
東京多摩	プロバスニュース第97号	人生100年時代に挑戦(小林務幹事)、童話づくりに挑戦中(上田清会員)、神谷さんを偲んで(多数投稿あり)他
神戸北	11月例会のご案内	「ひとこと」中戸文代、卓話「人間の性」山田博補会員、他
東京八王子	プロバスだより第311号	「火の明かり」永井昌平、「東京八王子2022」全国からのお客様をあたたくお迎えを(大会実行委員長一瀬明)他
大阪	会報第364号	卓話「初めてのデイサービス」有竹正巳会員、デイサービスとは?、テーブルの話題「認知機能検査」他
姫路南(二水会)	会報第107号	「4万kmを歩いた男、伊能忠敬の「人生二度有り」(その10)」松下秀明記、「この時期、色んな本が読めてます」益田信行記、他

今回 第367回 Xmas 例会 2021年12月20日(月)
 会場：ホテルモントレ大阪 16:30~19:30

- 大阪プロバスの歌(作詞：渡辺 孟 補詩：田村徳郎)
- ① プロバスクラブへ集まろう 気の合う仲間とお昼時
元気に歌おう会の歌 第二の人生また楽し
 - ② プロバスクラブに集まって 優しく気軽に話そうよ
見せたい自慢の得意技 遊びのプランもまた楽し
 - ③ プロバスクラブに集まれば 高まる奉仕の心意気
世界に広がる和の願い 明日も愉快地生き抜こう

●雪(作詞者・作曲者ともに不詳)

- ① 雪やこんこ 霰(あられ) やこんこ。
降つては降つては ずんずん積る。
山も野原も綿帽子 かぶり、
枯木残らず 花が咲く。
- ② 雪やこんこ 霰(あられ) やこんこ。
降つても降つても まだ降りやまぬ。
犬は喜び 庭駆けまはり、
猫は火燵(こたつ) で丸くなる。



前回 第366回 通常例会 2021年11月8日(月)
 会場：ホテルモントレ大阪 12:00~14:00

◎第366回 通常例会

- 司会進行：野村尚子会員
- ソング：吉川栄子会員 ●小さい秋見つけた
- 乾杯：高儀好男会員
- 食事タイム
- 有竹正巳会長挨拶

松岡さんの退会、本当に寂しいですね。あの美声が聞けないこと、残念でなりません。今までの恩義に報いる為、許可いただけるなら私がソングリーダーを頑張ってみても良いと思っています。(歌については少し自信があります。松岡さんの比ではありませんが) 巨人が勝って嬉しいです。きっと来年は阪神が頑張るでしょう。いづれにしてもこれから寒くなります。健康で元気で頑張ってください。

以上

○幹事報告：

例会前11時半より理事会を開催しましたので結果を報告いたします。

- ・Xmas 例会の件：12月20日4時半よりホテルモントレ大阪にて、会費は会員ゲストとも1万円と決定。会員がご友人等を例会に招待するのは自由。(多数のお誘いをお願い致します。)
- ・松岡会員の件：松岡会員から「歩行困難のため退会」との連絡。ソングリーダーを委員の吉川会員にとのこと。高儀会員が委員を引き受けられた。
- ・全日本 HP へ会報掲載の件：全日本プロバス協議会 HP への当クラブ会報掲載依頼が承認される。当クラブの会報は全日本 HP にも掲載されることとなります。

○誕生月会員：（左から）9月高儀好男会員、11月別所泰会員



（別所泰会員よりご挨拶メモ：91歳になったが、この頃は死の方について考えることが多いとのコメントがありました。会報363号の松岡茂雄会員の卓話でも「死の方について」のお話がありましたが、別所会員も同じようなことをお考えと推察致しました。）

○出席報告：出席委員長中井良美会員より、会員12名出席との報告あり。

○OH-BOX 中井良美委員より4名3,500円との報告があった。（以下順不同）

★川端崇且会員：先般の大阪プロバスクラブ20周年記念例会ご参加ありがとうございます。

★別所泰会員：11月1日で満91歳を迎えることができ、ありがたい事と思っています。若い頃、高校3年の頃、胸が痛かったり、心臓の調子がおかしいな—とったり、長生き出来るとは思えませんでした。・・・？まだ生きています。???

★浅山紀久子会員：クリスマス会、参加お願い致します。

★野村尚子会員：20周年記念例会実行委員会のみな様。お疲れさまでした。

◎卓話：「大阪プロバスクラブについて」 川端崇且会員

大阪プロバスクラブ20周年記念例会にご参加頂きありがとうございました。当日の会計報告は吉川会計さんよりお手元に届いていると思います。

今日はプロバスクラブについて皆様方と考えてみたいとおもいます。まずは、大阪プロバスクラブ誕生の話。

私の知るところでは箕面千里中央ロータリークラブの中村さんが、ロータリークラブの青少年派遣リーダーとして英国に行ったときにプロバスクラブを知り、日本でもプロバスクラブを作れないかと調べると、もうすでに10年ほど前に兵庫県上郡プロバスクラブ他10数クラブが活動をしていることを知りました。大阪にもプロバスクラブを作ろうと箕面ロータリークラブの長谷川さん、豊中ロータリークラブの南坂さんの3人が中心になり設立に尽力されました。

2001年初代会長に南坂さんが就任をして、会員43名でスタートしております。例会はホテルグランヴィア大阪で

したが、もっと安価な阪急グランドビル17階に変わり大阪プロバスクラブはリタイヤ、セミリタイヤした高齢者の集いである理念に基づいて、工夫を重ね進めています。

昨年よりコロナ禍の状況で各プロバスクラブが運営に苦慮されているとの事です。「楽しくなければプロバスクラブでない」を冠に会員の親睦を大切にしているのに、例会が出来なくなると楽しみがすべて無くなる事は貴重な経験でした。

コロナ禍が終息に近づいているように思われますが、今後のプロバスクラブの例会運営が出来るかを皆様と共に考えていきたいと思っております。

皆様にお聞きします。賛成は手を挙げて下さい。

1. 現在例会が月1回ですが良いと思う——80%が良い
2. 移動例会（旅行）は春と秋で良い——100%良い
3. クリスマス例会はする——100%良い
4. 例会費は現状で良いか——100%良い
5. 会員増強はどうすれば良いか——全員で進める
（追記：会員自ら周辺の元気な高齢者に大阪プロバスクラブを知ってもらい、「暇つぶしに行ってみようか」と思ってもらえるように努力する。）
6. 奉仕活動は取り入れるべきか——追記：会則には奉仕活動は会員の意思に任せるとの規定あり。

（追記は幹事意見）

会員さんの答えはクラブ運営については現状で良いが会員増強が1番の難問です。

最後に、これは京都プロバスクラブの会員さんで私も親しくして頂いたかたの投稿文です。

これからの人生でやりたい事は「美しく老いる」事

- ・人に迷惑をかけず自分自身で生活を楽しむ
 - ・向上心、好奇心を持ち続ける
 - ・広い心で人に接し、世の中のありようを見届けていく
 - ・見出しなみや挙措にも年齢相応の注意を
- 人生百年時代と言われる昨今、言うことはたやすいがこれを全うすることは、なかなか難しいが「美しく老いる」ことに人生最後のチャレンジをしてみたい。それだけ価値のある目標だと思う。

私も、チャレンジをしたいとおもいます。ご清聴ありがとうございました。



（会報担当より：2002年4月8日の集合写真、卓話に出てくる南坂会員、中村会員、長谷川会員の3名他、（後列右から）別所泰会員、小林惇三会員、吉田州伸会員、（中列右端）亡くなられた福岡会員、（中列左端）川土居元会員。）

◎近況報告：小林惇三会員「比叡山に行ってきた」

最近、比叡山延暦寺へお参りに行ってきた、もみじの紅葉がきれいだった、京阪電車で簡単に行けたのでよかったとのこと。



画像提供：比叡山延暦寺（紅葉名所 2021 サイトより）

（会報担当より：「お参りに行った」とのこと、比叡山延暦寺の話題の中から下記 HP 記載の「日本仏教の母山」について初歩的な点を少し整理しました。）

★比叡山延暦寺は日本仏教の母山

（天台宗総本山比叡山延暦寺 HP より引用）

平安末期から鎌倉時代はじめにかけては、法然・栄西・親鸞・道元・日蓮といった各宗派の開祖たちが比叡山で学びました。こうして後に比叡山は**日本仏教の母山**と呼ばれるようになったのです。

★平安末期から鎌倉時代は末法の時代

（日本の歴史 鎌倉時代より引用）

平安末期、社会の大変動期になると、貴族に代わって武士が台頭し、一般民衆の意識も高まるにつれ、無常観にもとづく末法思想が流行。

古代からの土地制度が崩壊し、武士、蒙族の進出によって、国家的仏教は無力化し、民衆はめまぐるしい変動に生き抜く基準や法則、理論が必要となってきた。新しい価値観新しい人生観、世界観を求める時代的背景が渦巻き、古い觀念や倫理、体系を捨てた新しい思想が求められる真只中で鎌倉幕府が開かれ、仏教も新しい時代をむかえるのである。

1052年 末法元年

- 1192年 源頼朝 征夷大將軍（鎌倉幕府が成立）
- 1191年 栄西 臨濟宗を広める（1202年**建仁寺**建立）
- 1198年 法然 選択本願念仏集
- 1224年 親鸞 教行信証
- 1227年 道元 曹洞宗を開く（1244年**永平寺**建立）
- 1253年 日蓮 日蓮宗を広める
- 1333年 鎌倉幕府滅亡

★末法の時代はどういう様子だったか

末法の時代の社会の様子が「方丈記」（1212年）の記述で少しわかります。

- 1177年 暴風で大火、朱雀門、大極殿、大学寮、民部省、公卿 16家、都の三分の一焼ける。
- 1180年 辻風起こる大なるも小なるも破れざるはなし、桁、柱ばかり残れる、身を損ない片輪の人、数知れず。

- 1180年 福原遷都、都は約 400年を経る、軒を争いし住い、日毎に荒れ行く、家は壊され、地は畑になる、古京既に荒れ果て、新都未だ成らず、皆浮雲の思いなせり。
- 1181年 世の中飢饉、秋は大風洪水など続き、五穀成らず、こがねを軽くし、粟を重くす、乞食路に多し、飢え死ぬるもの多し、仁和寺の隆暁法印、数知れず死ぬるを見て首に阿字を書く。
- 1185年 大地震、山崩れ川を埋める、堂舎塔廟崩れ倒れ、塵灰立ちのぼり煙のごとし、地震二三十度振らぬ日はなし、三月ばかり続く。

★比叡山で学んだ開祖たちの仏教の特徴

（以下、末法思想 Wikipedia より引用）

このような末法の社会状況を踏まえ、各宗派が生まれた。

●**法然を開祖とする浄土宗**は末法思想に立脚し、末法濁世の衆生は阿弥陀仏の本願力によってのみ救済されるとし称名念仏による救済を広めた。

●**浄土真宗の開祖親鸞**は、師・法然の末法観を受け継ぎつつも、（中略）末法時代を超えて受け継がれてきた念仏の普遍性を強調した。

●また同時期、（**日蓮宗を開いた**）日蓮も末法思想を真剣に受け止め、末法であるからこそ信じて行すべき法を求め、法華経こそが正しい教えであるとし（法華一乗）南無妙法蓮華経と唱えることを広めた。

●一方、（**臨濟宗を開いた**）**栄西**や**曹洞宗を開いた道元**は、釈迦在世でも愚鈍で悪事を働いた弟子もいたことや、末法を言い訳にして修行が疎かになることを批判した。そして修行に努めることを説いた。



建仁寺潮音庭（画像引用元：建仁寺ギャラリー）



雪の永平寺（画像引用元：大本山永平寺公式サイト）

◎近況報告：吉田州伸会員「馬見丘陵公園へ行ってきた」

馬見丘陵公園（うまみきゅうりょうこうえん）は、近鉄大阪線「五位堂」駅から近い公園で、ダリア、コスモスなどがキレイだった。ハイキング仲間と行ってきたとのこと。

（会報担当より：以下の花の画像はいずれも「馬見丘陵公園 HP の花だより」より引用）



ダリア



コスモス



コキア

★公園の古墳

この馬見丘陵公園は馬見丘陵に存在する馬見古墳群の保全と活用をするために、奈良県土木部が1984年（昭和59年）に奈良公園に次ぐ県内2番目の広域公園として事業に着手した。計画面積65.3ha（ため池・古墳を除くと56.2ha^[1]）（中略）馬見古墳群内に位置する公園のため、園内に多数の古墳が存在する。（Wikipediaより）

（詳しいことは丘陵公園公式HP 公園の古墳を参照）

公園の古墳



★馬見の名前の由来

（奈良県歴史文化資源データベースより引用）

聖徳太子が法隆寺を建立する時、大和川の北の工事場へ通う際に、飛鳥から馬に乗り、四方の景色（国原）を眺めながら通ったので、馬見と名が付いたといわれている。馬見の地名によってこの地域で馬の放牧がおこなわれていたことがわかる。



次回 第368回 新年例会 2022年1月17日（月）
会場：ホテルモントレ大阪 12:00～14:00